

# 「全国巡回助行」始動!

お寺っていいですか?

## 全国巡回助行、って?

お祖師さま・高祖日蓮大士は、承久四年(一二二二年)二月十六日、房州小湊(現在の千葉県鴨川市)にご降誕されました。宗門では、三年後にお迎えする高祖日蓮大士ご降誕八百年の慶讃ご奉公として、「教化法灯相続つづれ織り運動」を展開しております。

そこで本年より、お祖師さまにさらにお喜びいただけるご奉公を目指して「八〇〇の三本の矢」を放たせていただきます。

**第一「教化誓願達成に全力投球」**  
**第二「教務員および学徒を育てる」**  
**第三「薫化会活動の充実」**

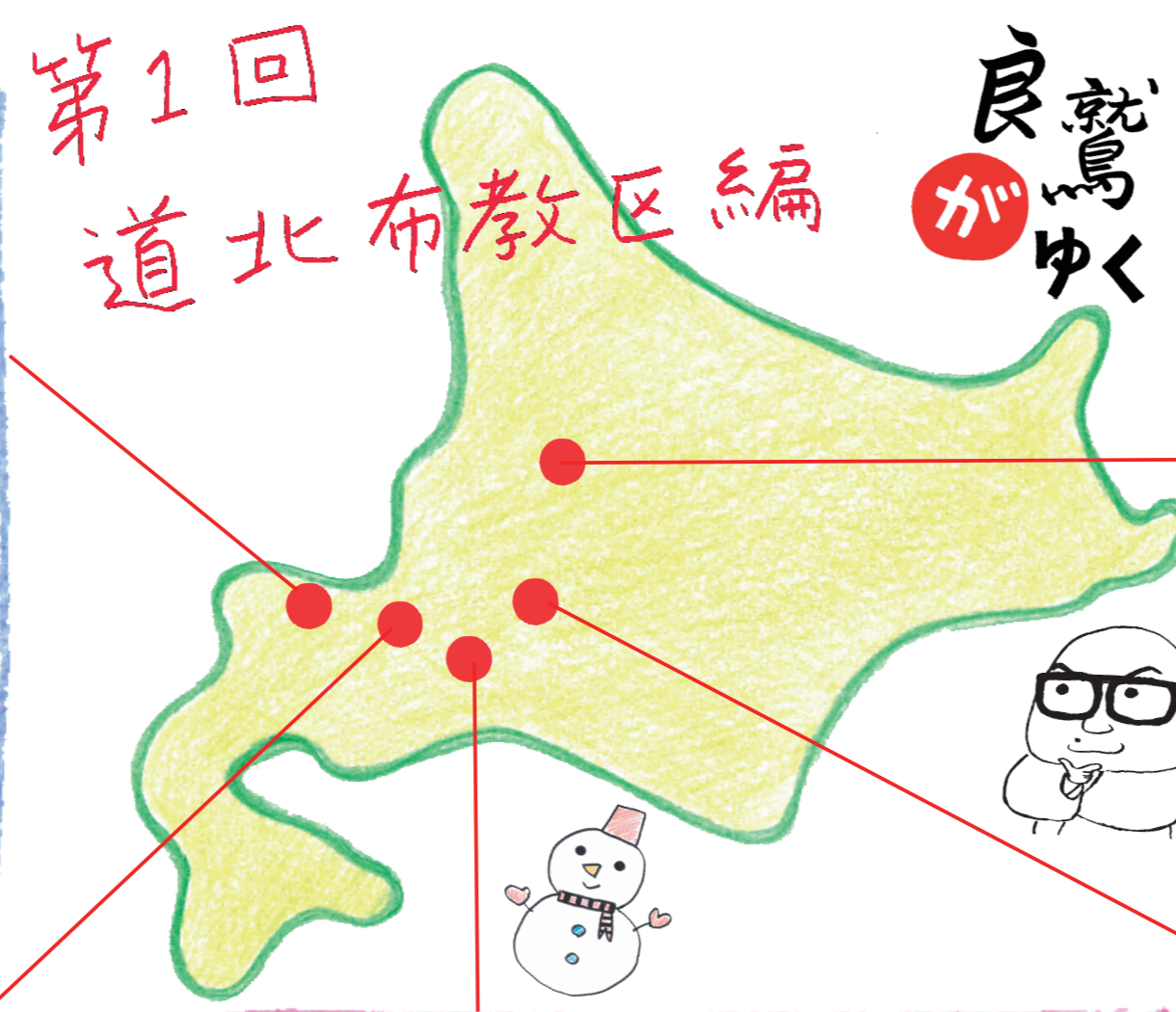
この誓願を成就させていただくために、「全国巡回助行」を実施させていただきます。

「全国巡回助行」を通して、弘通局が各寺院の教講との交流を図り、慶讃ご奉公の趣旨説明、激励はもちろんです。何より全国のご信者方との対話を通して、現場の生の声、切実なる思いを共有し、各寺院の活性化を目指したいと考えています。

是非とも、皆さまの声をお聞かせください。全国巡回助行でお会いしましょう!



発行日 2019年2月5日  
 発行 本門佛立宗弘通局



### 信受寺

港町・小樽市内にある信受寺は雪深い上に傾斜が急な境内地ですが、多くの熱心なご信者が参詣に励まれました。

### 旭川寺

モダンで立派な本堂が印象的な旭川寺は、お導師を中心にシッカリとまとまっている暖かい雰囲気のお寺でした。

### 信廣寺

札幌円山公園のすぐ東に一際目立つドーム状の建物。さすがは北海道の中央寺院、大勢のご参詣がありました。青年会も頑張っておられます。可愛いくんげ会の体験談発表が印象的でした。

### 千歳寺

今回参詣させていただいた中で最も雪深い寺院でしたが、雪かきもしっかりなされ、落ち着いた雰囲気の本堂の中、熱気のコモったお看経がありました。

### 信廣寺 滝川別院

一面の銀世界。雪深い砂川市に法城を構えるのが信廣寺滝川別院です。力強いお看経が上がりホカホカになりました。お導師のやさしい笑顔が印象的でした。

～つづれおり新聞とは～

- 「全国巡回助行」ご報告
- 全国のご信者を紹介する「ピカッとひかるくん」
- 教化体験談「よろこびおすわけ」等の記事を、毎月掲載予定です。是非とも、お寺の掲示板を活用して、皆さまへのご周知をお願いします。宗門のHPにも同内容が掲載されています。

ご信心で一番頑張っていることは、朝早く起きてお寺に行くことです。朝は、いつも、起きるのが大変ですが、頑張ってきています。今は、寒参詣なので特に頑張ろうと思います。私は、十歳ですが、今まで一度も入院をしたり、予防注射以外の注射をしたことはありません。これも、ご法様から頂いた御利益だと思っています。ご法様は、みんなを見守って、忙しいと思いますが、わたしのことも見守って頂けるように、朝参詣を頑張りたいと思います。

### 信廣寺 相内玲衣ちゃん

わたしは、五歳のころから、御会式でアメ配りのご奉公をしています。「ありがとうございます」とアメを渡すと、「ありがとう」と受け取ってもらえるのがとても嬉しいです。この前の七五三で、青年会のお姉さんに教えてもらって法鼓を始めて叩きました。「上手だったよ」と言ってもらえて嬉しかったです。

これからも、くんげ会のお友達と一緒に、お寺のご奉公をしていきます。そして、お父さんお母さんと一緒に沢山お参りに来たいと思います。

信廣寺 河西咲ちゃん

私たちが、両親の背中、様々な御利益を見て、ご信心を学び今日があります。子や孫たちにも私たちの背中を見せてご信心を伝えていけるよう、今後とも祈願させていただきます。

昭和五十一年、家内が体調を崩し入院手術をしました。原因もわからず途方に暮れておりました。その頃、信廣寺のご信者が我が家へお助行にお見えになり、家内の病気を知り、東京のある病院を紹介して下さいました。早速、検査をした処、五つの癌が見つかりました。私は大変戸惑いましたが、家内の両親に励ましていただき、御祈願されていたかのようになりました。体調は良くなりました。悪くなったりの繰り返しでしたが、長い月日を経て癌が消え、今では完治しております。それもこれも、家内の両親のご信心のお陰であると感じております。

その後、家内の両親が帰寂してから、私もようやくご信心の有り難さを感じることが出来、現在では日々の朝参詣へ励まさせていただいております。その間、息子二人も無事に三代目として法灯相続が出来ました。孫も、いずれ四代目としてご信心を相続すると申しております。

私たちが、両親の背中、様々な御利益を見て、ご信心を学び今日があります。子や孫たちにも私たちの背中を見せてご信心を伝えていけるよう、今後とも祈願させていただきます。

### 千歳寺 西川義雄さん フジ子さん

私は、昭和四十五年、家内の両親を教化親として、旭川寺で入信いたしました。ところが、長年名ばかりの信者で、反発ばかりしてしまいました。家内も、それほど熱心なご信者ではありませんでした。

昭和五十一年、家内が体調を崩し入院手術をしました。原因もわからず途方に暮れておりました。その頃、信廣寺のご信者が我が家へお助行にお見えになり、家内の病気を知り、東京のある病院を紹介して下さいました。早速、検査をした処、五つの癌が見つかりました。私は大変戸惑いましたが、家内の両親に励ましていただき、御祈願されていたかのようになりました。体調は良くなりました。悪くなったりの繰り返しでしたが、長い月日を経て癌が消え、今では完治しております。それもこれも、家内の両親のご信心のお陰であると感じております。